

平成27年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	千葉大学	主たる交流先	中南米諸国
事 業 名	ポスト・アーバン・リビング・イノベーション・プログラム		

〔評価コメント〕

本事業計画は、日本や中南米諸国の都市生活で抱える課題に挑み、新たなリビング・イノベーションに貢献するプログラムの構築を目的として、文理混合と学習成果の事業化をアウトカムに据えた先進的かつ意欲的な取組である。企業の製品・事業開発のプロセスをカリキュラムに導入している点がユニークで、実践力の養成においても有効なものとなっている。また、学士課程から博士課程までを対象とし、全学的な体制構築を目指している点で先導的であり、国際化だけでなく、大学改革という点でも高く評価できる。

また、ジョブ・ベースド・ラーニングに基づくインターンシップは相手国の学生にとって大きな魅力になるとともに、交流のための仕組みについても6ターム制を導入するなど工夫されており、ダブルディグリープログラムを実施するなど多様性を設けている点も評価できる。

一方で、実践型教育の比重を高める反面、住環境に関連する基本的な知識や理解、語学・文化の教育への配慮が行き届かないことが危惧されるため、事業のテーマであるリビング・イノベーションが中南米諸国特有の課題とどのように関係するのか十分明確にした上で、カリキュラムのバランス面において更なる検討が望まれる。

最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、将来の日本と中南米諸国との関係を見据え、中南米諸国との間の架け橋となるリーダー人材の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。